

加古川市の兵庫大学女子駅伝部が27日に仙台市で開催される「全日本大学女子駅伝」に初めて出場する。創部から10年間目指し続けた憧れの舞台。選手たちは「厳しい練習の成果を発揮したい」と意気込んでいる。
(小森有喜)

兵庫大女子駅伝部 全日本駅伝初出場

6人「楽しんで走る」

27日・仙台

同部には1〜4年生の13人が所属する。大学近くのため池周辺が主な練習場所。決して恵まれた環境ではないが、週6日、月間計600キロを目安に走り込むなど鍛錬を重ねる。

計38・1キロ。山本千絵選手(3年)、桜井千佳選手(4年)、大東優奈選手(4年)、横川海姫選手(3年)、清水穂穂選手(4年)、前田久瑠実選手(2年)の6人が走る。

予選を兼ねる「関西学生対校女子駅伝」は9月下旬、神戸市北区で開催。昨年は全国大会の出場枠に届かない9位に終わり、雪辱に燃えていた。

今年も、第8回神戸マラソンで横川選手が日本人女子のトップに輝いたほか、選手が確実に力を付け、予選突破へ期待が高まっていた。夏合宿は例年以上の練習を続け、毎日40キロ以上を走った。選手は「きつかったけれど、精神的に強くなった」と口をそろえる。

17チームが出場した今年の予選は、8位以上が全日本出場の条件。3区の大東選手が1人を抜かずなど、序盤から6、7位を維持し、たすきは6区前田選手へ。

「先輩がつかないで来た順位を落とすわけにはいかない」と力を振り絞り、7位でゴール。全国への切符を手にした。

全日本駅伝には26チームが出場。主将の桜井選手は「代々の先輩がつかないできたたすきを受け取る気持ちで、楽しんで走りたい」と笑顔を見せた。



全日本大学女子駅伝に初出場する兵庫大学女子駅伝部の選手。加古川市役所